

氏名	明 石 英 夫
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1558 号
学位授与の日付	昭和60年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）
学位論文題目	腱の骨内固定に関する実験的研究
論文審査委員	教授 寺本 滋 教授 折田薫三 教授 村上宅郎

学位論文内容の要旨

骨内に固定された腱の癒合過程の実験的研究はいくつか報告されているが、微視レベルでの検討はなされていない。本研究では、プロイラー幼鶏の正常腱付着部と骨内固定腱を顕微鏡と走査型顕微鏡で観察した。正常腱は腱線維が直接骨に付着し、骨に埋入した腱線維はさらに細い線維に枝分れして周囲の骨に付着している。腱の骨内固定実験は、第 3 足趾屈筋腱を付着部で切り、これを末節骨内に固定し、4 日から 12 週後に腱固定部を切断して観察した。腱と骨の癒合は、腱と骨の間にできた肉芽組織が成熟して新生結合組織、さらに腱組織となり両者を結合し、同時に骨側から化骨が生じてなされる。骨内に固定された腱の付着部は、8 週後で腱、線維軟骨、骨の三層を形成し、正常と同じ構造となる。化骨は基質小胞と思われる 0.2μ 径前後の顆粒様物質が集積して形成される。腱と骨が強固に癒合するのはシャープ線維が出現する 4 週間後からと推定される。

論文審査の結果の要旨

本研究は整形外科領域における腱の骨内固定に関する実験的研究であるが、従来十分に確立されていなかった骨内固定された腱と骨との間の癒合過程に関する重要な知見を得たものであって価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。